

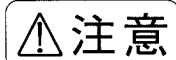
- 新日軽の製品をお買い上げいただきありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当マニュアルをお読みください。
- 施工完了後は本マニュアルをお施主様へお渡しください。

注意事項 施工にあたっては次のような点に注意してください。

○施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃して下さい。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お願いしたいこと…このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	この表示を無視して、取付・取扱いを誤ると使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。

⚠ 注意事項

○本製品は樹脂製品です。火気には充分御注意下さい。又、70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり、高温のものを近づけたりしないで下さい！

○フェンスの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。

施工上の注意

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱によっては異常腐食を起し思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

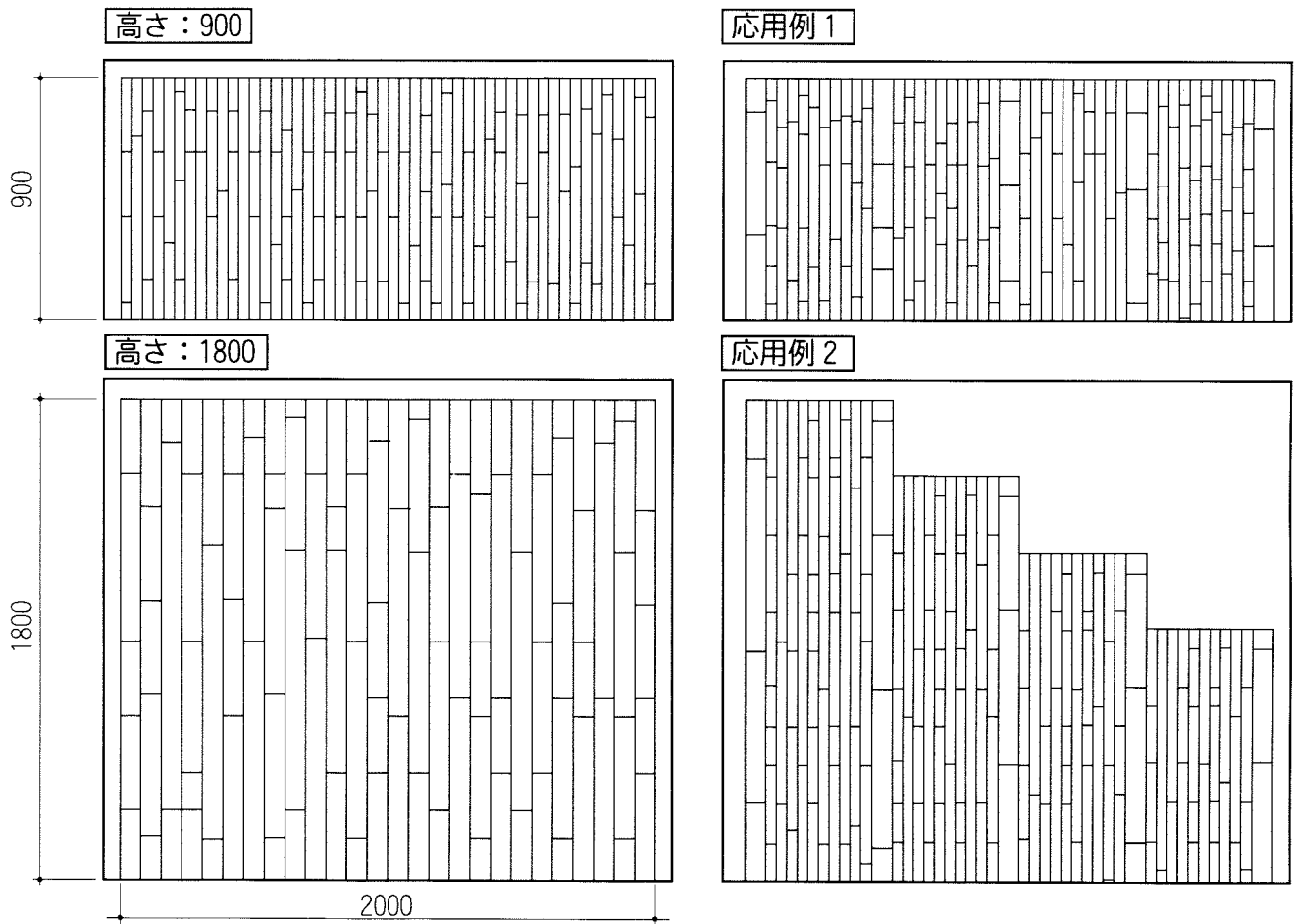
- ① 施工時に商品に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけると腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ② アルミ製品と異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ③ 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ④ 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けいただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。

※ 汚れホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面で軽くたたくようにしてください。

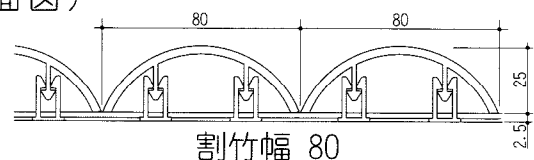
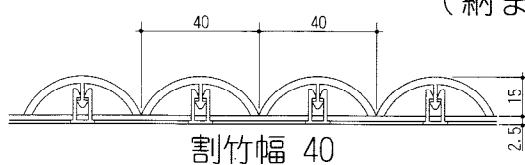
梱包内容明細

製品名称	部材名称及びサイズ		製品番号	色	入数
	製品名称	割竹幅40mm	H: 900mm	TNTTA094J	薄枯竹
〃		H: 1800mm	TNTTA184J	薄枯竹	10本梱包
割竹幅80mm		H: 900mm	TNTTA098J	薄枯竹	5本梱包
〃		H: 1800mm	TNTTA188J	薄枯竹	5本梱包
下地材A		H: 2000mm	CNTTB202	こはく色	2本入り(組立施工マニュアル・ビス12本小袋入り) 1本につき取付ピース(J-1142) 50ヶ組込済
別売部品	割竹40mm用樹脂キャップ		TNTTC4J	薄枯竹	10ヶ小袋入り 接着剤小袋入り
	割竹80mm用樹脂キャップ		TNTTC8J	薄枯竹	5ヶ小袋入り 接着剤小袋入り

基本納まり図

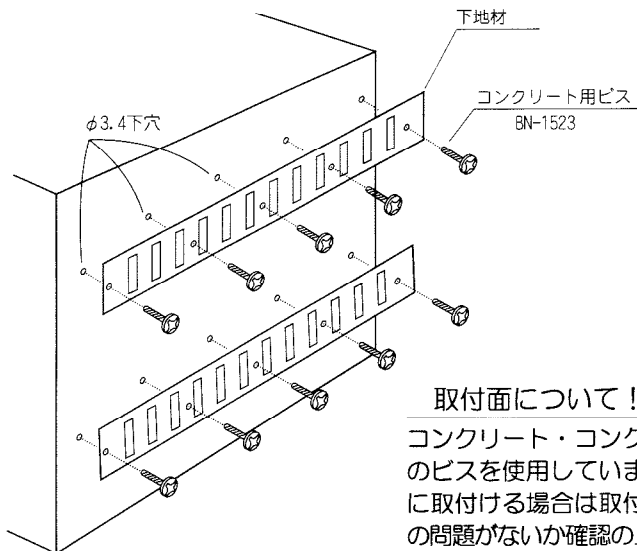


(納まり断面図)

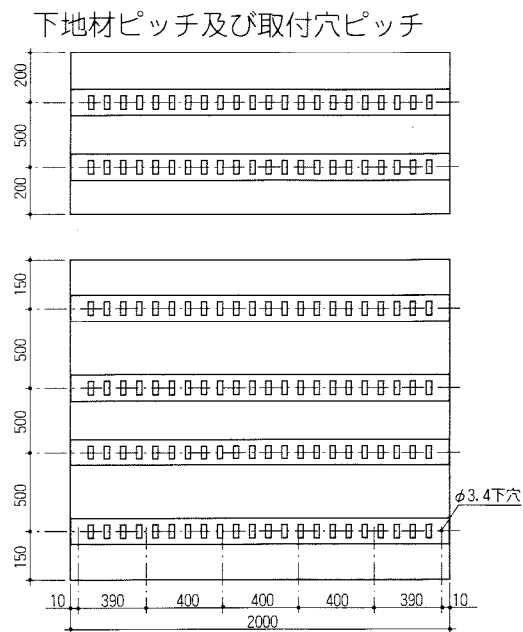


組立施工手順（以下の手順に従い組み立てて下さい）

- 1 納まり図を参考に下地材を駆体にコンクリート用ビス（BN-1523）で取り付けます。駆体にはあらかじめφ3.4の下穴を開けて下さい。
- 2 下地材は墨だし等を行い縦通しを明確に出して下さい。下地材の縦通りが正確でない場合は割竹が取り付けられない場合があります。

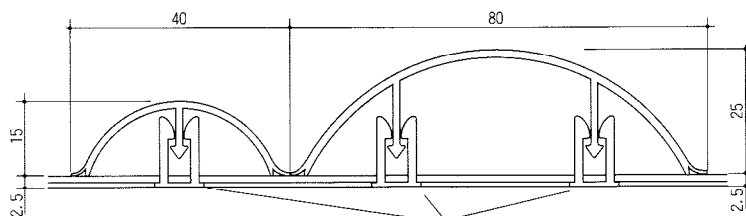


取付面について！
 コンクリート・コンクリートブロック用のビスを使用しています。その他の場所に取付ける場合は取付面の強度や防水等の問題がないか確認の上取付けて下さい！

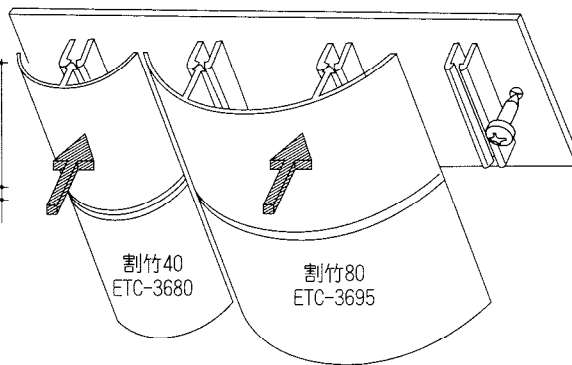


- 3 下地材のジョイントピースに割竹の爪（リブ）部を嵌めこんで下さい。割竹は、1本ずつ嵌合を確認の上取付して下さい。

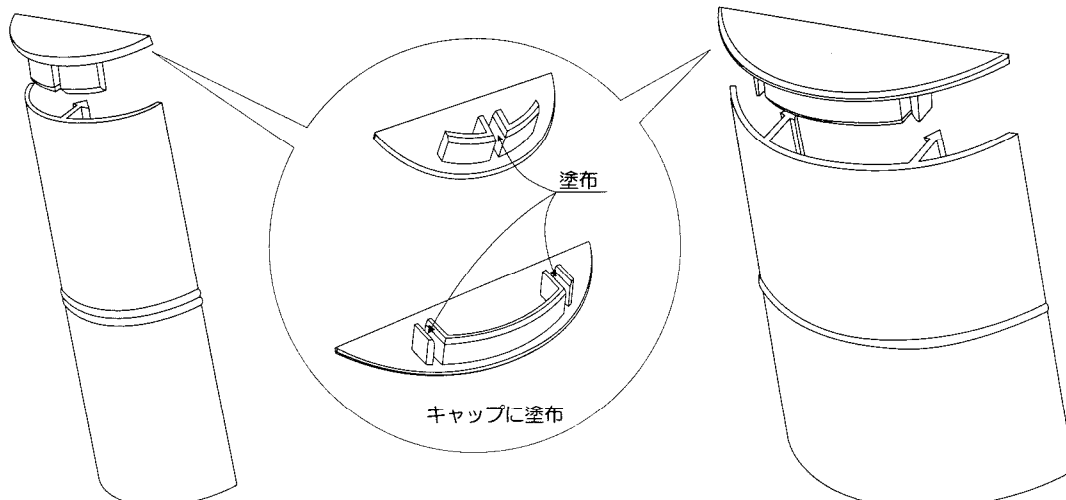
取付基本断面図



注) 節部は下側にして下さい
 上端部に節部がある場合は4のキャップ付において、切断面が見えるコトがあります。

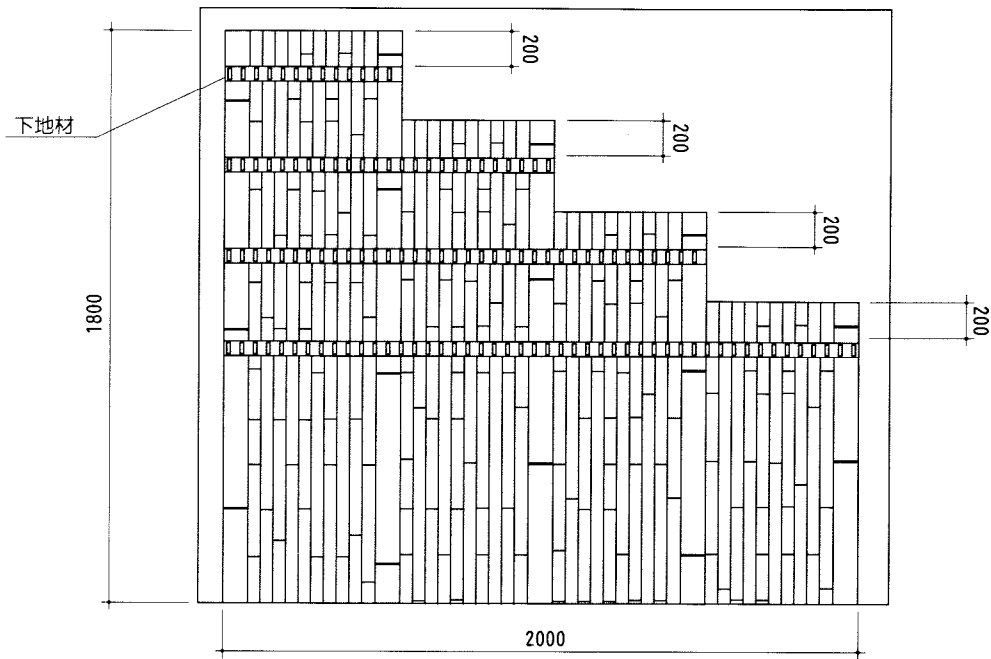


- 4 キャップは接着剤（BC-5149）を図の位置に塗布し、割竹に取り付けて下さい。



注) キャップ接着後、24時間放置しておいて下さい！

- 5 割竹を切断して施工する場合は、割竹が下地材より200mm以上飛び出さない様に施工して下さい。

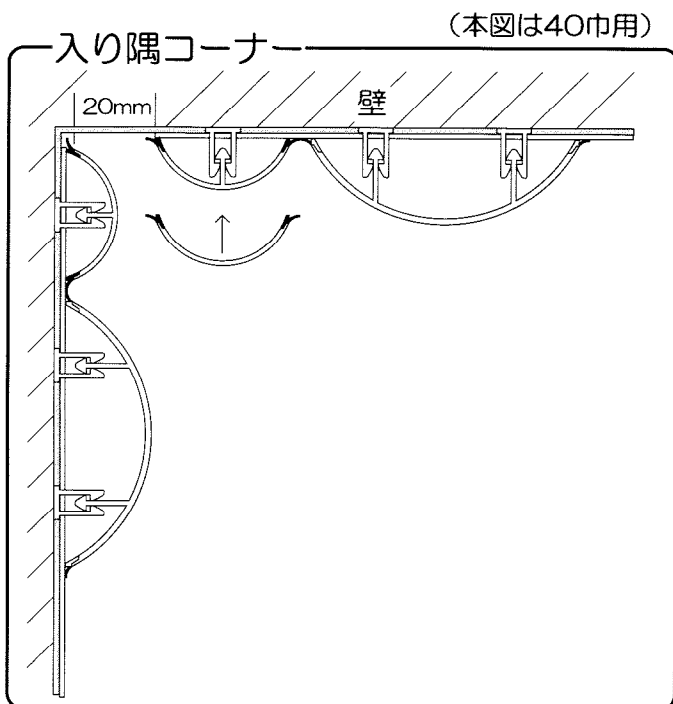


注1) 割竹の縦切断は出来ません！

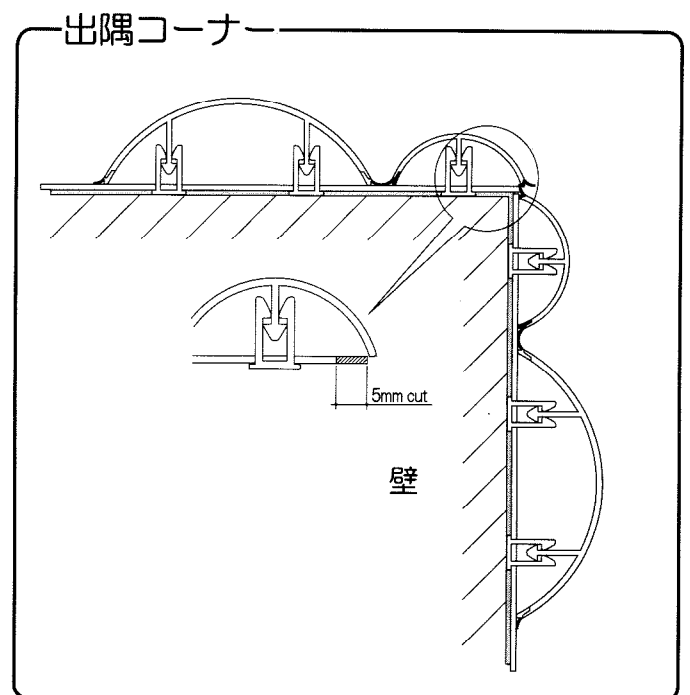
注2) 切断時、サッシャー等で強く押しきると割れが生じる可能性がありますので御注意下さい。

コーナー納まり図 (参考)

コーナー納まりにつきましては下図を参照の上、現場に合わせて納めてください。



入り隅コーナーの場合は、40巾で20mm・80巾で30mmコーナーからすき間を開けて取付けてください。割竹が取り付かなくなります。



出隅の場合はそのまま取付けると下地材が見えます。片側を5mm短くして取りつくと、下地材が隠れます。